Ⅲ　決算に関する情報

○　令和7年度決算（自動車安全特別会計　自動車事故対策勘定）

・歳入歳出決算の概要

（単位：百万円）

歳　入		歳　出	
賦課金収入	11,196	被害者保護増進等事業費	10,066
積立金より受入	2,712	独立行政法人自動車事故対策機構運営費	12,139
一般会計より受入	580,559		
償還金収入	369	独立行政法人自動車事故対策機構施設整備費	777
雑収入	1,040		
前年度剰余金受入	63,810	自動車損害賠償保障事業費	633
		業務取扱費自動車検査登録勘定へ繰入	1,053
		再保険及保険費	28
		予備費	－
合計	659,689	合計	24,700

※百万円未満切り捨てのため、合計が一致しないことがある。

・歳入歳出の決算上の剰余金の額、当該剰余金が生じた理由及び当該剰余金の処理の方法

（剰余金の額）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　634,989 百万円

（剰余金が生じた理由）

補正予算時の見込みに比べ、歳入において、前年度における被害者保護増進等事業費の繰越しがあったこと等により、前年度剰余金受入が予定を上回ったこと、歳出において、自動車事故被害者支援体制等整備事業が予定を下回ったこと等により、被害者保護増進等事業費補助金を要することが少なかったこと等から剰余金が発生。

（剰余金の処理の方法）

「特別会計に関する法律」附則第56条において読み替えられた同法第218条の2第1項の規定により積立金に567,521百万円を積み立て、残額67,467百万円は、同法第8条第1項の規定により翌年度の歳入へ繰り入れることとした。

・令和7年度末における積立金の残高

（積立金の残高（令和8年3月31日））・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　156,108 百万円

（令和7年度決算により積み立てる額）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　567,521 百万円

（積立金の目的）

自動車損害賠償保障法による被害者保護増進等計画を安定的に実施するための積立金及び再保険契約に基づく再保険金の支払い等を行うための積立金。

Ⅲ　決算に関する情報

○　令和7年度決算（自動車安全特別会計　自動車検査登録勘定）

・歳入歳出決算の概要

（単位：百万円）

歳入		歳出	
検査登録印紙収入	19,972	独立行政法人自動車技術総合機構運営費	1,711
検査登録手数料収入	18,098		
一般会計より受入	265	独立行政法人自動車技術総合機構施設整備費	704
他勘定より受入	1,053		
雑収入	229	業務取扱費	37,081
前年度剰余金受入	6,951	施設整備費	1,529
独立行政法人自動車技術総合機構納付金収入	11	予備費	－
合計	46,582	合計	41,027

※百万円未満切り捨てのため、合計が一致しないことがある。

・一般会計からの繰入金の金額及び当該金額の額が予算に計上した額と異なる場合にあってはその理由

（一般会計からの繰入金の実績額）････････････････････････　265 百万円

（予算に計上した繰入金の額）･･･････････････････････････　265 百万円

・歳入歳出の決算上の剰余金の額、当該剰余金が生じた理由及び当該剰余金の処理の方法

（剰余金の額）･･　5,555 百万円

（剰余金が生じた理由）

補正予算時の見込みに比べ、歳入において、新規検査手数料収入が多かったこと等のため、検査登録手数料収入が予定を上回ったこと、歳出において、契約価格が予定を下回ったこと等により、情報処理業務庁費を要することが少なかったこと等から剰余金が発生。

（剰余金の処理の方法）

「特別会計に関する法律」第8条第1項の規定により、翌年度の歳入に繰り入れることとしている。

Ⅲ　決算に関する情報

○　令和7年度決算（自動車安全特別会計　空港整備勘定）

・歳入歳出決算の概要

（単位：百万円）

歳　入		歳　出	
空港使用料収入	243,319	空港等維持運営費	151,840
一般会計より受入	38,268	空港整備事業費	129,777
地方公共団体工事費負担金収入	7,305	北海道空港整備事業費	8,322
借入金	21,306	離島空港整備事業費	3,074
償還金収入	9,199	沖縄空港整備事業費	13,535
空港等財産処分収入	1,551	航空路整備事業費	26,485
雑収入	60,396	成田国際空港等整備事業資金貸付金	10,900
前年度剰余金受入	128,897		
配当金収入	5,928	空港等整備事業工事諸費	1,695
		空港等災害復旧事業費	1,550
		国債整理基金特別会計へ繰入	32,362
		予備費	－
合　計	516,172	合　計	379,543

※百万円未満を切り捨てて計算しているため、合計が一致しないことがある。

・歳入歳出の決算上の剰余金の額、当該剰余金が生じた理由及び当該剰余金の処理の方法

（剰余金の額）・・　136,628 百万円

（剰余金が生じた理由）

補正予算時の見込みに比べ、歳入において、前年度の空港等維持運営費が予定より少なかったこと等により、前年度剰余金受入が予定を上回ったこと、歳出において、事業計画の変更等により、空港整備事業費において翌年度への繰越工事があったこと等から剰余金が発生。

（剰余金の処理の方法）

「特別会計に関する法律」第8条第1項の規定により、翌年度の歳入に繰り入れることとしている。